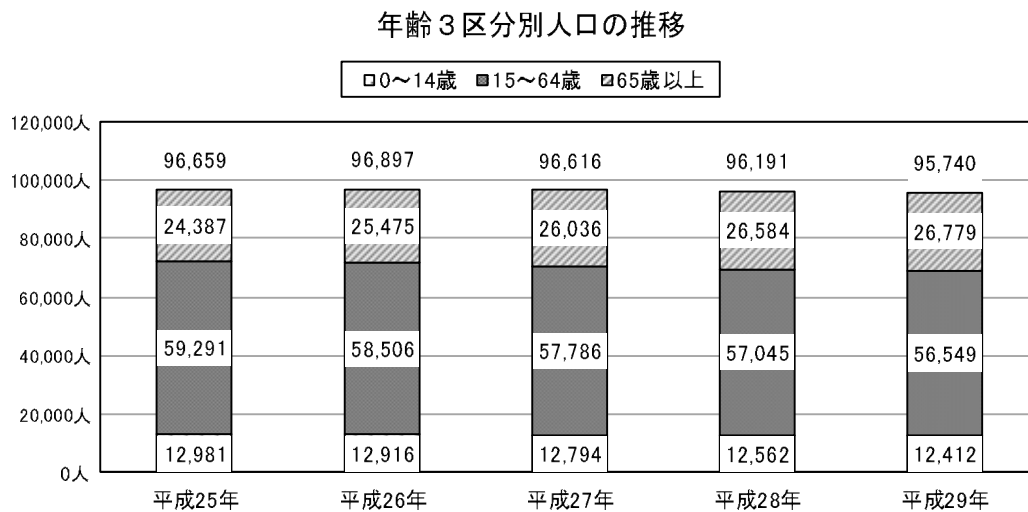


## 芦屋市の高齢者人口等の推移

### (1) 年齢3区分別人口及び高齢化率の推移

本市の総人口は、住民基本台帳によると、平成26年以降、年々緩やかに減少傾向にあり、平成29年4月1日現在で95,740人です。

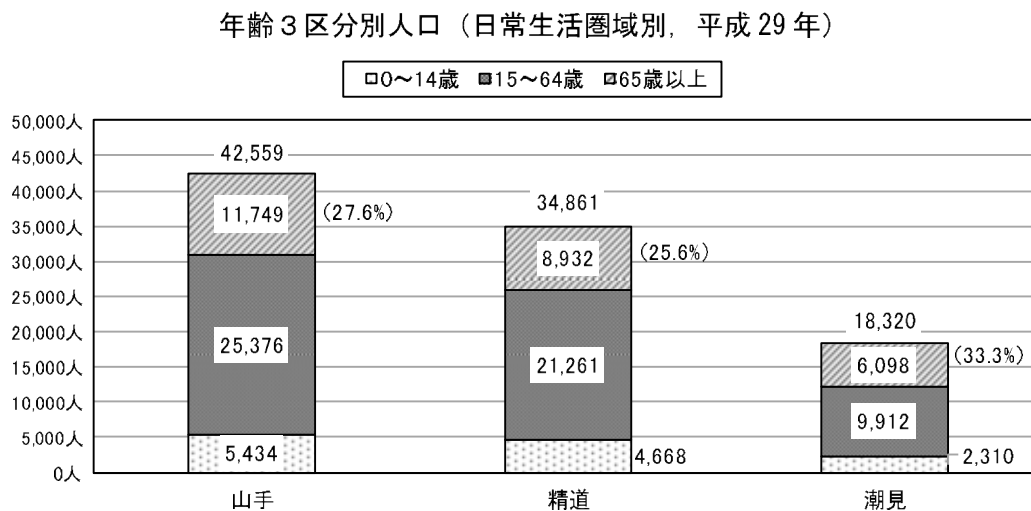
年齢3区分別にみると、0～14歳、15～64歳人口は、減少傾向で推移している一方、65歳以上の高齢者人口は年々増加している状況です。



注：平成29年のみ4月1日現在

資料：住民基本台帳（各年10月1日現在）

日常生活圏域別の高齢者人口は、山手圏域が最も多く、潮見圏域が最も少ない状況です。高齢化率は、潮見（33.3%）が最も高く、精道（25.6%）が最も低い状況です。

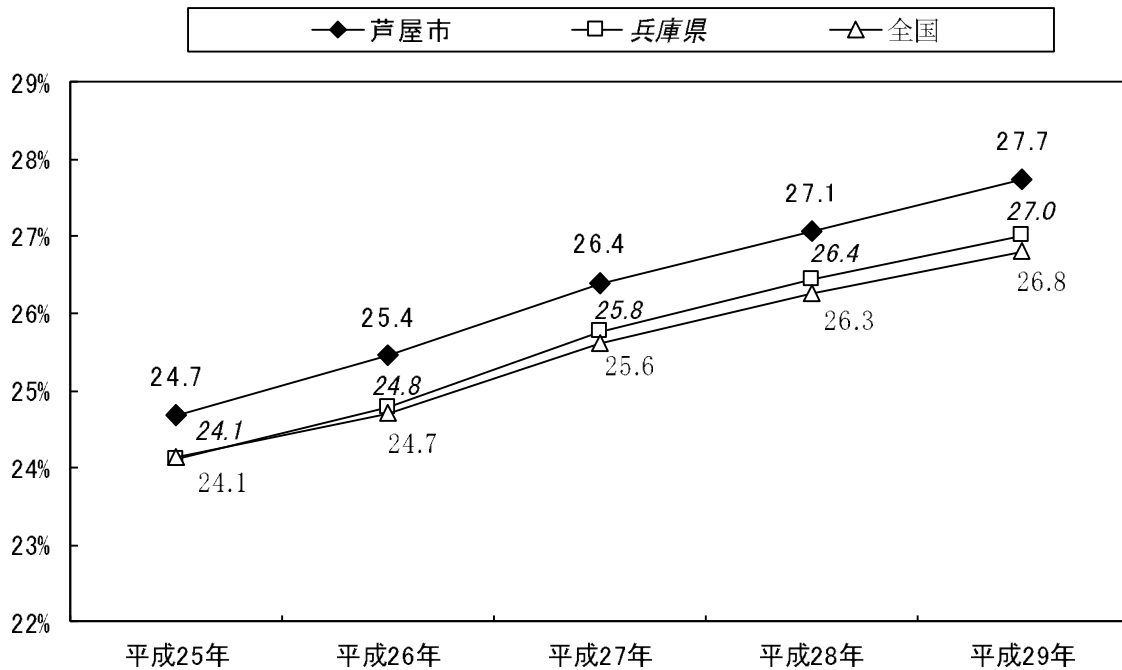


注：（ ）内は高齢化率

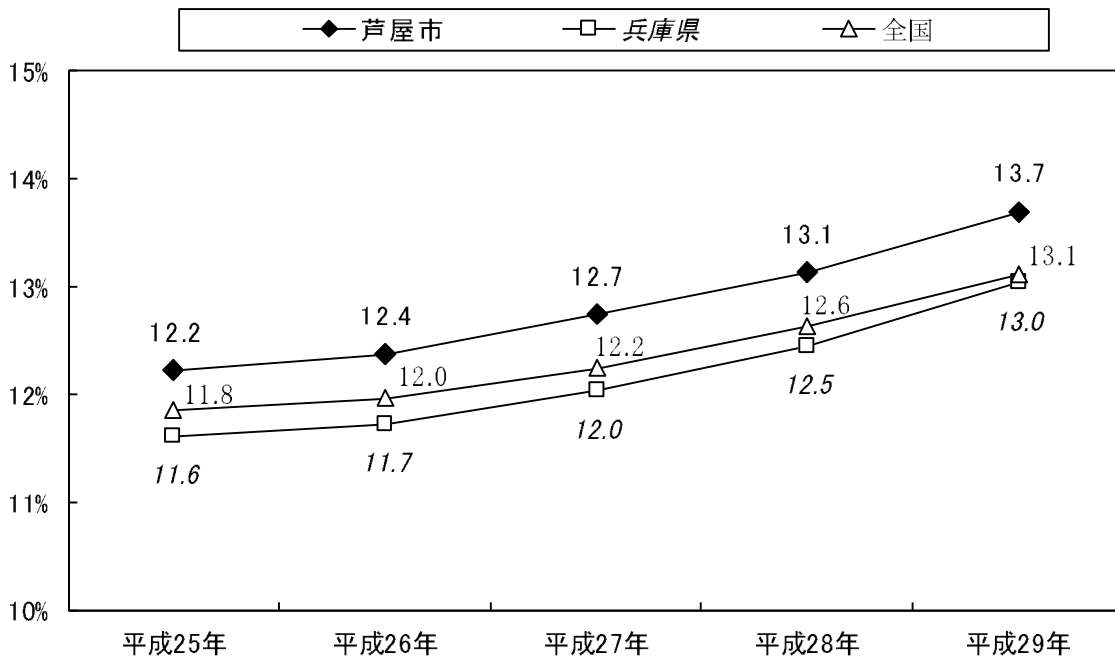
資料：住民基本台帳（平成29年4月1日現在）

本市の高齢化率は全国・兵庫県と比べ、高い状況にあります。  
また、後期高齢化率も全国・兵庫県よりも高い状況です。

高齢化率（高齢者割合）の比較【全国・兵庫県】



後期高齢化率（後期高齢者割合）の全国・兵庫県との比較



注：平成25年のみ3月31日現在。※平成26年調査から調査期日が変更

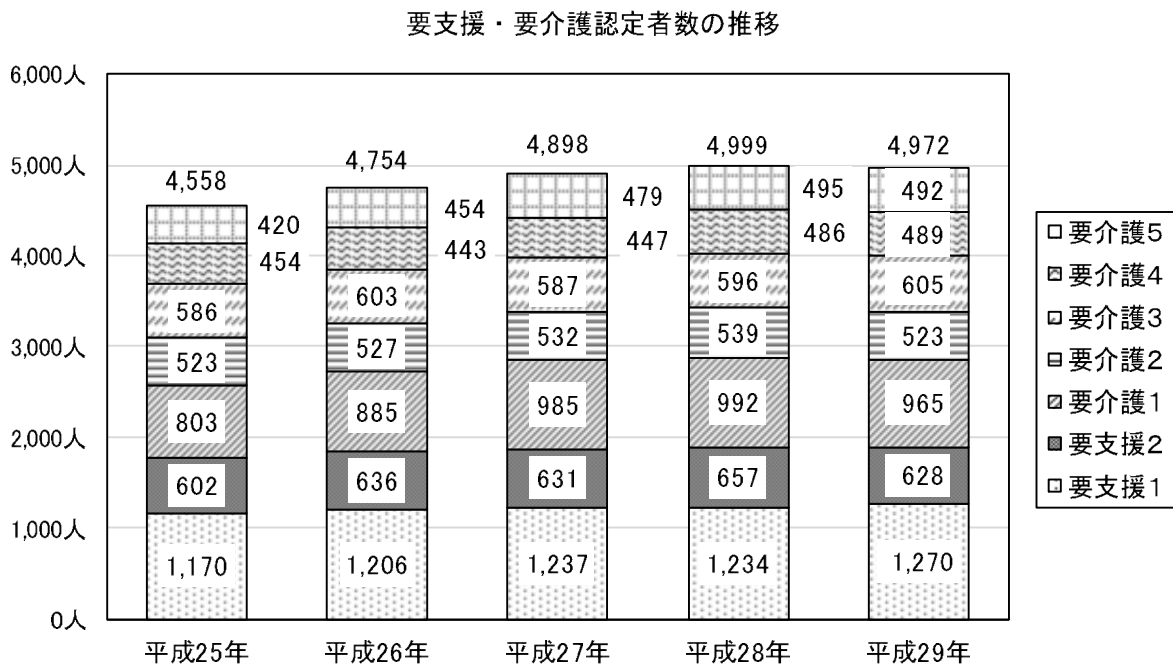
資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」（各年1月1日現在）

## (2) 要支援・要介護認定者の状況

### ① 要支援・要介護認定者数の推移

要支援・要介護認定者数は年々増加傾向にあり、平成29年で4,972人となっています。平成25年から要支援・要介護認定者数の増加率（前年比）は、年々低下しており、平成26年・4.3%、平成27年・3.0%、平成28年・2.1%、平成29年では反転し-0.5%となっています。

要支援・要介護度別にみると、各年ともに要支援1が多く、平成29年では1,270人、要支援・要介護認定者の25.5%を占めています。



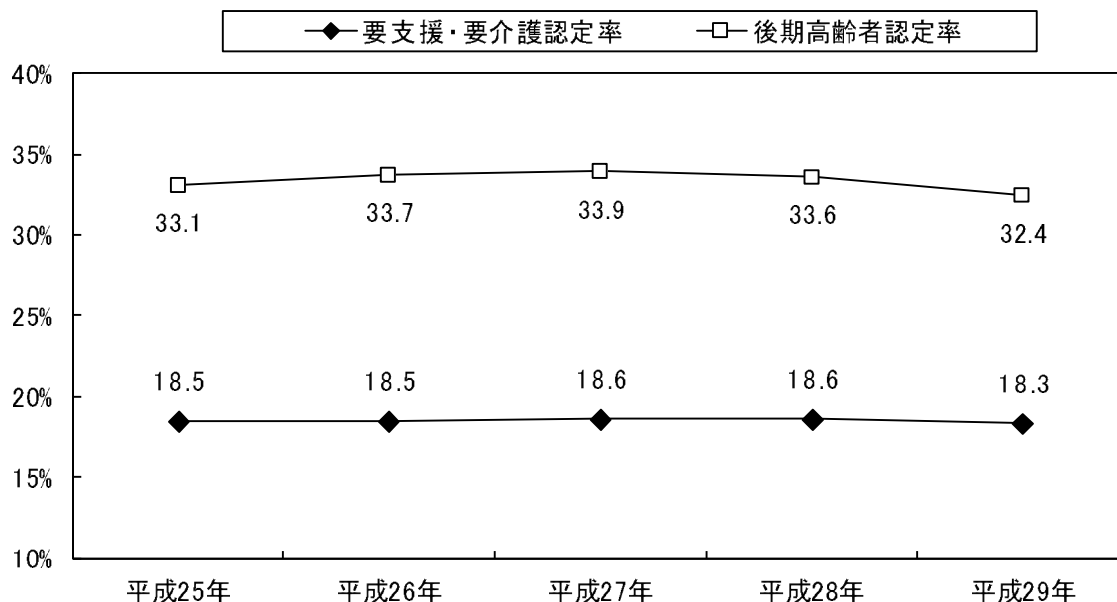
注：平成29年のみ5月月報

資料：介護保険状況報告（各年9月月報）

要支援・要介護認定者数は年々増加傾向にあります。要支援・要介護認定率はほぼ横ばいで、平成29年では18.3%です。

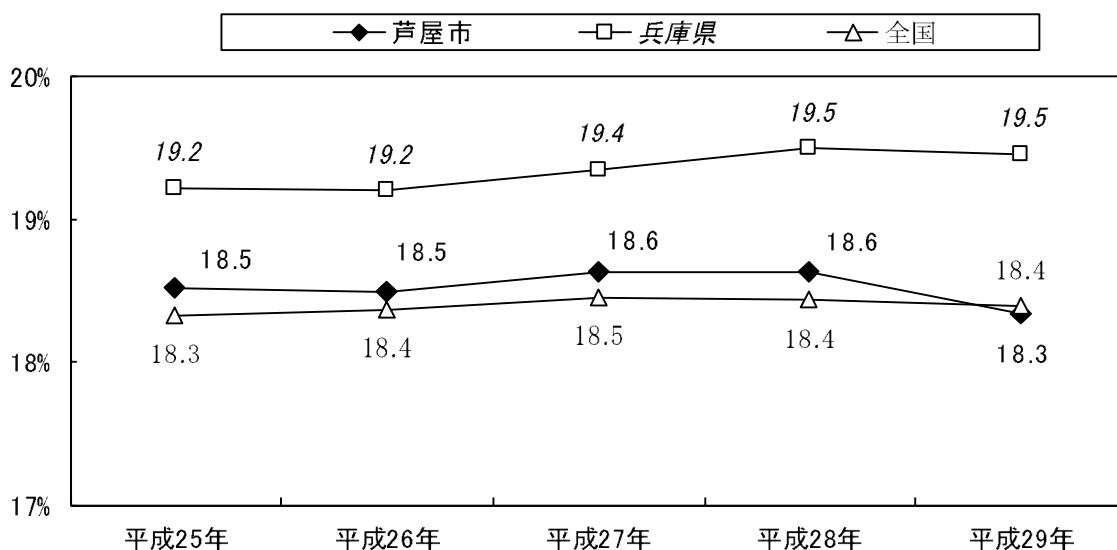
また、後期高齢者の認定率は平成27年以降、微減傾向で推移し、平成29年では32.4%となっています。

要支援・要介護認定率の推移



要支援・要介護認定率を全国・兵庫県と比較すると、本市は全国とほぼ同水準、兵庫県より認定率が低くなっています。平成28年から平成29年にかけて、全国・兵庫県が横ばいで推移するなか、本市は全国より下回り、18.3%となっています。

要支援・要介護認定率の比較【全国・兵庫県】



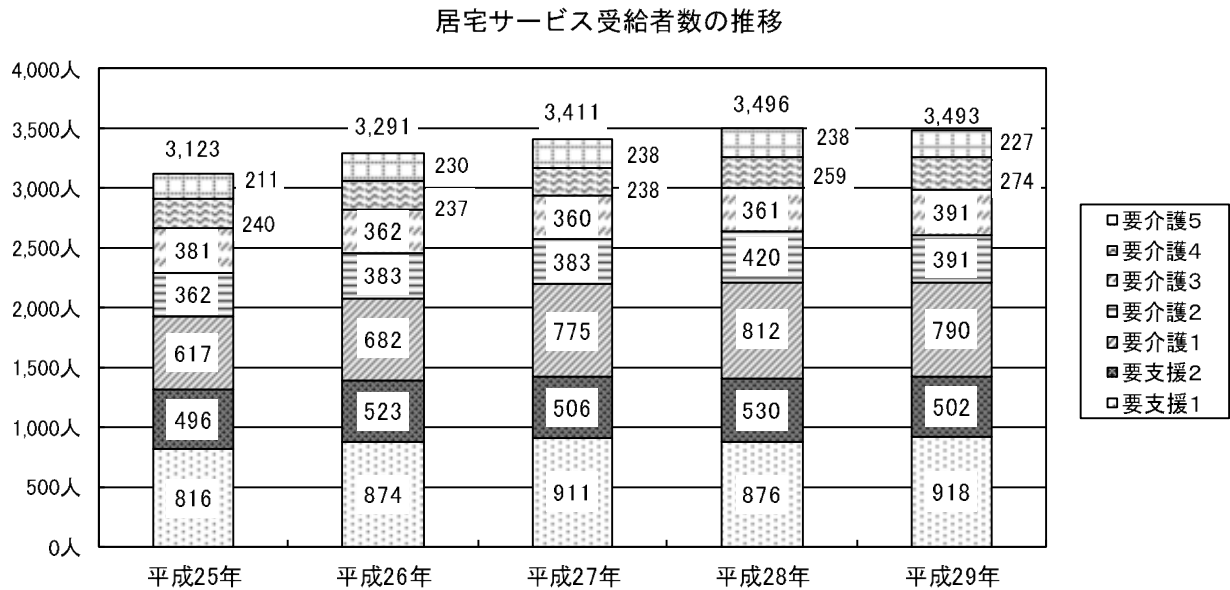
注：平成29年のみ5月末現在

資料：介護保険状況報告（各年9月月報）

## ②居宅サービス受給者数の推移

居宅サービス受給者数は平成28年まで増加傾向にあり、その後、平成29年にかけて若干、減少して3,493人となっています。平成25年から居宅サービス受給者数の増加率（前年比）は、年々低下しており、平成26年・5.4%、平成27年・3.6%、平成28年・2.5%、平成29年では反転し-0.1%となっています。

要支援・要介護度別にみると、各年ともに要支援1が多く、平成29年では918人です。

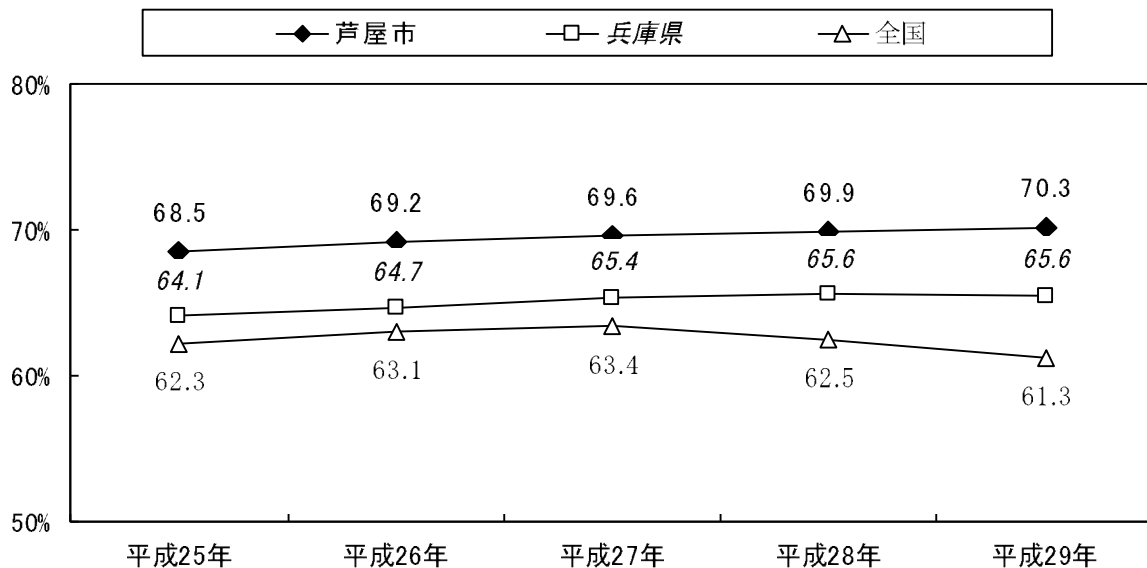


注：平成29年のみ5月月報【3月利用分】

資料：介護保険状況報告（受給者数は各年11月月報【9月利用分】）

居宅サービス受給者割合を全国・兵庫県と比較すると、各年ともに全国・兵庫県よりも高い状況にあり、本市は居宅サービスの受給者が多い状況です。

要支援・要介護認定者数に対する居宅サービス受給者割合の比較【全国・兵庫県】



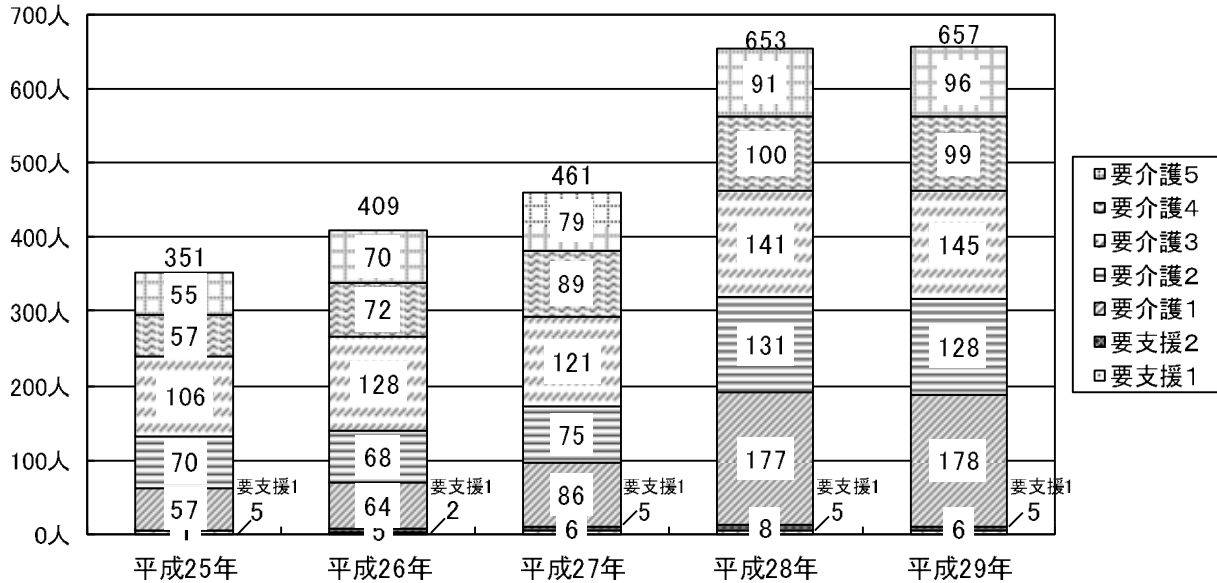
注：平成29年のみ5月月報【3月利用分】

資料：介護保険状況報告（受給者数は各年11月月報【9月利用分】、認定者数は各年9月月報）

### ③地域密着型サービス受給者数の推移

地域密着型サービス受給者数は年々増加しており、平成29年で657人で、平成25年に比べて87.2%増加しています。

地域密着型サービス受給者数の推移



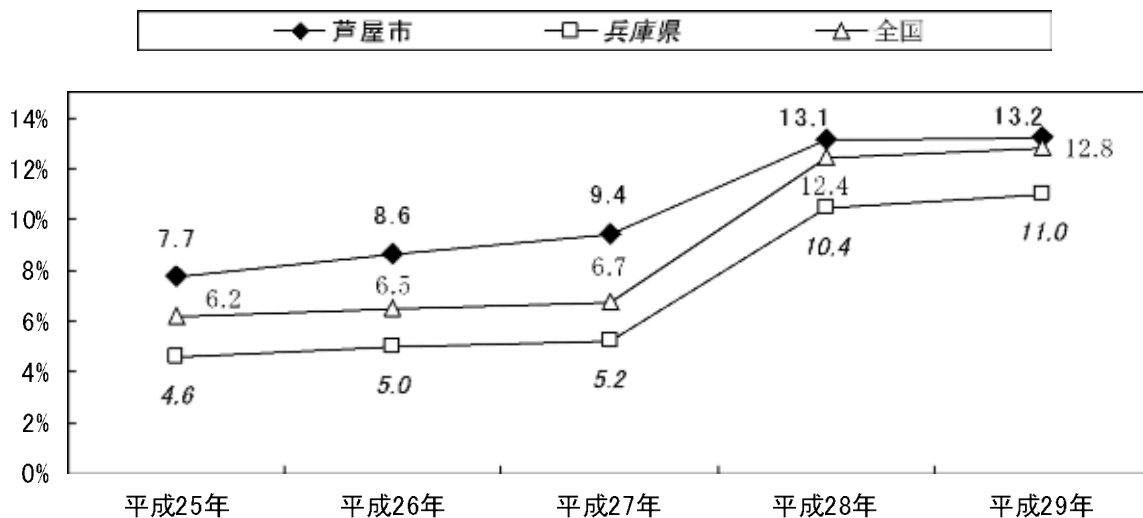
注：平成29年のみ5月月報【3月利用分】

注：平成27年から平成28年にかけての増加の主な理由は、定員18名以下の通所介護が地域密着型サービスに移行したため

資料：介護保険状況報告（受給者数は各年11月月報【9月利用分】）

地域密着型サービス受給者割合を全国・兵庫県と比較すると、各年ともに受給率が高い状況です。

要支援・要介護認定者数に対する地域密着型サービス受給割合の比較【全国・兵庫県】



注：平成29年のみ5月月報【3月利用分】

注：平成27年から平成28年にかけての増加の主な理由は、定員18名以下の通所介護が地域密着型サービスに移行したため

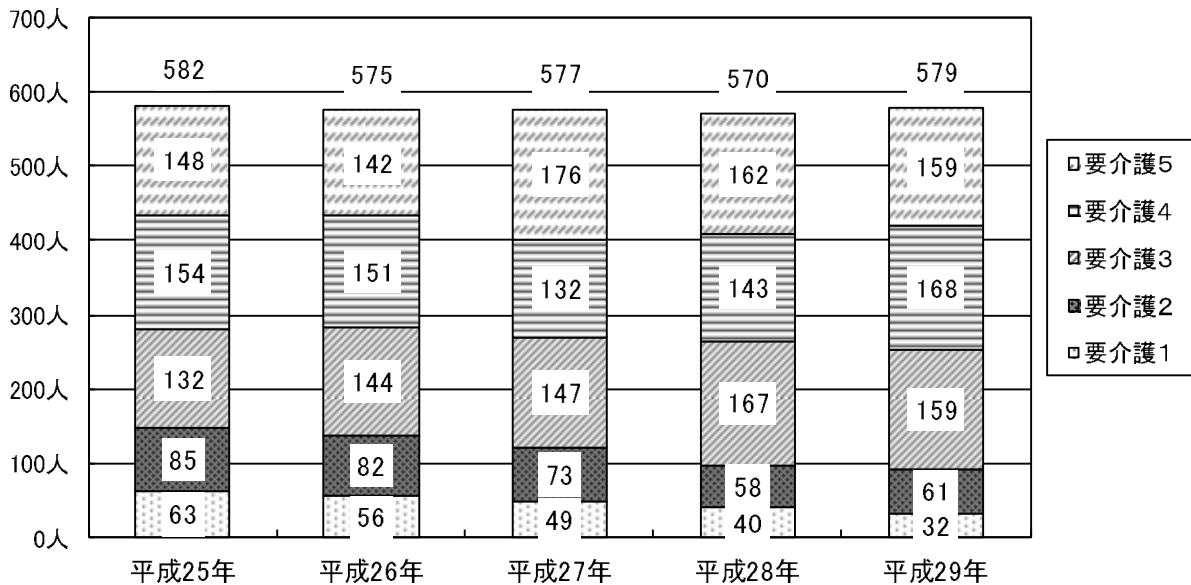
資料：介護保険状況報告（受給者数は各年11月月報【9月利用分】、認定者数は各年9月月報）

#### ④施設サービス受給者数の推移

施設サービス受給者は横ばい傾向にあり、平成28年から平成29年にかけて増加し、579人となっています。

施設利用者のうち要介護4・5の重度利用者は平成29年で327人、施設利用者全体の56.5%であり、平成25年の51.9%（582人中302人）に比べて、重度の利用者が増えている状況です。

施設サービス受給者数の推移

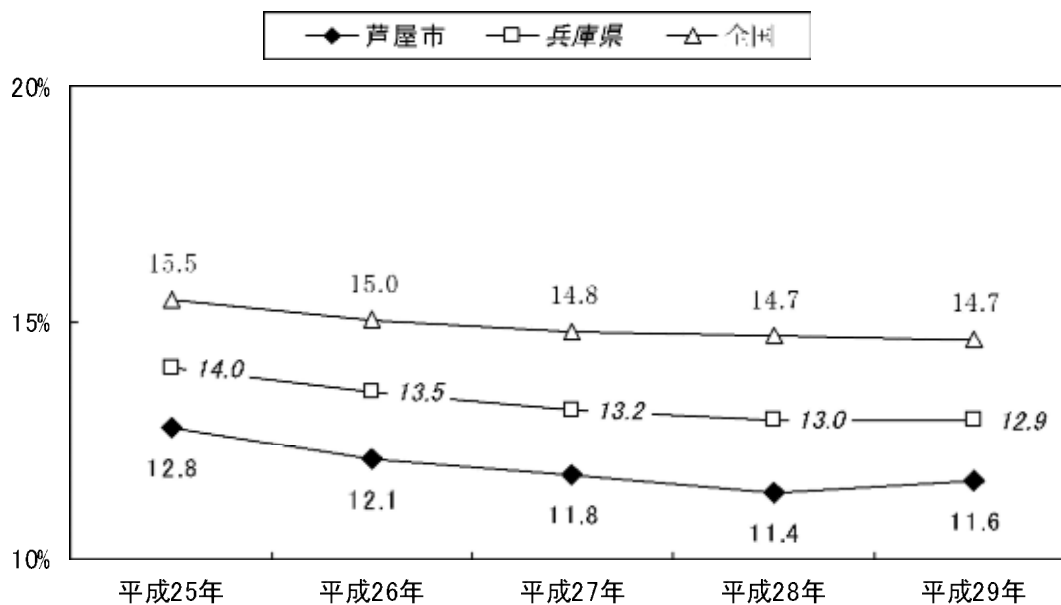


注：平成29年のみ5月月報【3月利用分】

資料：介護保険状況報告（受給者数は各年11月月報【9月利用分】）

施設サービス受給者割合を全国・兵庫県と比較すると、各年ともに全国・兵庫県よりも低い状況です。

### 要支援・要介護認定者数に対する施設サービス受給割合の比較【全国・兵庫県】

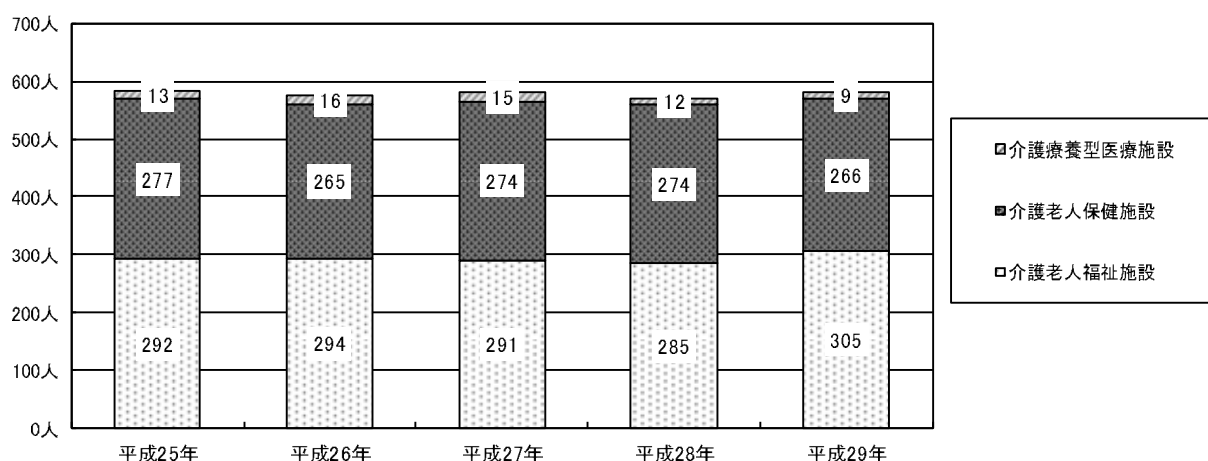


注：平成29年のみ5月月報【3月利用分】

資料：介護保険状況報告（受給者数は各年11月月報【9月利用分】、認定者数は各年9月月報）

介護保険3施設別に利用状況を見ると、平成29年では、介護老人福祉施設が305人、介護老人保健施設が266人、介護療養型医療施設が9人となっています。

### 介護保険3施設別の受給者数の推移



注：平成29年のみ5月月報【3月利用分】

資料：介護保険状況報告（受給者数は各年11月月報【9月利用分】）